

歴博だより

Museum of EHIME History and Culture's News



えひめいやしの南予博 2016

特別展

自転車ヒストリー ～夢と希望をペダルにのせて～

平成28年9月17日[土]～11月27日[日]

休館日/毎月月曜日(祝日及び毎月第1月曜日は開館、翌火曜日が休館)

主催/愛媛県歴史文化博物館

特別協力/(一財)自転車普及協会 自転車文化センター

(公財)シマノ・サイクル開発センター 自転車博物館サイクルセンター

観覧料/大人(高校生以上)500円、小中学生・65歳以上250円

※他にお得な共通観覧券や団体割引(20名以上)もあります。

かつて自転車は憧れであり、仕事に欠かせない移動手段でした。戦後のモータリゼーション後も暮らしを支える足として、近年では健康や生きがいの側面から新たな注目を集めています。本展は、自転車文化センター及び自転車博物館サイクルセンターの特別協力を得て、南予に伝わった我が国現存最古級の三輪自転車から現代まで、自転車が果たした役割とその時代背景の移り変わりを一堂に展示します。

現在愛媛県では「自転車新文化」を推進していますが、時代の流れの中で自転車が愛媛の歴史とどのように関わり合いながら進展してきたか、再発見いただければ幸いです。



八幡浜で発見された我が国最古級の三輪自転車
明治10年代 自転車博物館サイクルセンター所蔵



ロシア兵捕虜との自転車競争(道後公園、明治38年) 当館蔵

関連講座(※要申し込み)

「夢、そしてチャレンジ!
タンデム自転車世界一周の経験から」

日時/10月16日(日)
13:30~15:00

講師/宇都宮一成氏
(NPOシクロツーリズムしまなみ)

「大正6年、自転車遍路日記」

日時/10月30日(日)
13:30~15:00

講師/井上 淳氏
(愛媛県教育委員会生涯学習課専門学芸員)

※申込方法は本紙P4をご確認ください。



紙芝居屋さんは自転車に乗って(伊予市双海町)
昭和30年頃 個人蔵



軍需用ジュラルミンを転用して作られた自転車
昭和22年 自転車文化センター所蔵

りょうとう せき ふ い けい せつき 両頭石斧(異形石器)

この資料は、広見川の河岸段丘上に位置する北宇和郡鬼北町豊永地区で採集された石器です。全体を粗く打ち欠いたもので、中央の両側縁を孤状に抉り、上下の両端部が尖頭状を呈していることから、「両頭石斧(異形石器)」と呼ばれています。その大きさは、長さ24.4cm、最大幅6.8cm、厚さ2.5cmで、重量は436.3gを測ります。

木村剛朗氏の著書『幡多のあけぼの』(1991)や『四万十川流域の縄文文化研究』(1987)にも同形態の資料が2点紹介されており、その一つが、現在、河内神社(高知県四万十市)の御神宝とされているもの(詳細な出土地は不明)で、もう一つが根元原遺跡(同県四万十町)で採集されたものです。このほか宇和島市津島町の家次海岸で採集されたものもあります。四国地域では両頭石斧の確認事例が少なく、その用途や詳細な使用時期については不明な点も多いのですが、ここで取り上げた4点の資料が、いずれも西南四国地域で発見されていることや、欠損することなく完形品で発見されていることなどから、当地域における祭祀的な性格を持った道具である可能性が考えられます。

また、本資料が採集された豊永地区から直線距離で西に約1kmの場所には、縄文時代後期の配石遺構を検出した岩谷遺跡(県史跡)が位置しており、今後はこうした祭祀遺跡との関連性も考えていく必要があります。

(専門学芸員 兵頭 勲)



出土地:北宇和郡鬼北町豊永地区
年代:縄文時代
所蔵:当館蔵

本資料は、えひめいやしの南予博2016の関連テーマ展「発掘 南予の遺跡Part 3ー考古収蔵庫に眠る南予の宝ー」(会期:4.23~H29.2.26)で展示しています。

車道を通行する自転車

昭和36年(1961)、県庁側から三越百貨店方面をのぞむ松山市一番町の電車通りの風景です。この写真を見て、「おや?」と思われる人がいるかもしれません。というのは、自転車が車道を走っているからです。

自転車は昔から歩道を走行していたイメージがありますが、もとより自転車は「軽車両」という車両の一種であり、車道の通行が原則です。しかし昭和40年代、モータリゼーションの進展に伴い、自動車と自転車の交通事故が急速に増えました。そこで昭和45年(1970)の道路交通法改正により、窮余の策として歩道での自転車通行が認められ、その後、歩道を自転車走行に利用する世界でも稀な習慣が定着しました。しかしこの写真で分かるように、それまで自転車は車道を走っていたのです。

近年、自転車の無秩序な歩道通行による事故多発を背景として道路交通法が改正され、改めて自転車は車道通行が原則であることが啓発されています。さらに“自転車新文化”を掲げる愛媛県では、「愛媛県自転車の安全な利用の促進に関する条例」が平成25年7月より施行され、ヘルメットの着用など、自転車のより安全な利用の促進に努めているところです。

この一枚の写真は、本来の自転車利用のあり方を教えてくれるのです。

(専門学芸員 土居 聡朋)



年代:昭和36年
撮影:山内 一郎氏
所蔵:当館蔵

本資料は、特別展「自転車ヒストリー」(会期:9月17日~11月27日)で展示します。

弱虫ペダル 原画展

いま最も熱い自転車漫画「弱虫ペダル」。原作漫画とTVアニメーションから、普段目にはできないオリジナル肉筆原画や資料を一挙に展示する大規模原画展。人気作品の魂ともいえる肉筆原画の数々をぜひご堪能ください。

期 間／9月17日(土)～11月27日(日)
休館日は年間カレンダーをご参照ください
観覧料／大人(高校生以上)500円
小学生以上250円



©渡辺航(週刊少年チャンピオン)2008
©渡辺航(週刊少年チャンピオン)／弱虫ペダルGR製作委員会

テーマ展

南予の戦国乱世 — 館蔵品を中心に —

本展では、館蔵品を中心に南予の戦国史にまつわる古文書や武具等の関連資料を紹介し、乱世の南予を振り返ります。あわせて、最近発見され織田信長・足利義昭・長宗我部元親らの関係を知る興味深い資料として全国的に話題を呼んでいる「石谷家文書」(林原美術館蔵)を特別に出展し、南予との関連の中で紹介します。

期 間／9月17日(土)～11月27日(日)
休館日は年間カレンダーをご参照ください



紋柄威五枚胴具足(個人蔵・当館保管)



流旗(個人蔵・当館保管)

友の会よりお知らせ

友の会は、愛媛の歴史や民俗について学び親しむ人たちの集まりです。10月1日より入会いただく場合は、会費が半額になります。常設展が無料になる他、この秋の特別展も無料でご覧いただけます。ぜひ、この機会にご入会ください。

《お問い合わせ》 友の会事務局 電話(0894)62-6222 山下



水きはくのみしあと

平成28年7月16日(土)～8月31日(水)の土・日・祝日には、特別展「TRAIN WORLD!」の関連事業として様々なイベントを実施しました。8月1日から11日の期間には「鉄道おもちゃパーク」を開催し、鉄道おもちゃの巨大ジオラマやタワーなど電車の世界を楽しんでいただけました。また例年以上に怖さが増したれきはく恒例の夏イベント“お化け屋敷パート7～呪われた人形師の家～”も多くのお客様に足を運んでいただき大盛況でした。たくさんの皆様のご来館、誠にありがとうございました。



平成28年度 歴史文化講座 下期

歴史講座 13:30~15:00

- 講座番号④ 特別展開連講座「夢、そしてチャレンジ! タンDEM自転車世界一周の経験から」
日 時:10月16日(日)
講 師:宇都宮 一成氏(NPOツーリズムしまなみ)
- 講座番号⑤ 特別展開連講座「大正6年、自転車遍路日記」
日 時:10月30日(日)
講 師:井上 淳氏(愛媛県教育委員会生涯学習課専門学芸員)
- 講座番号⑥ 源氏物語講座⑨「光源氏の須磨・明石からの帰京一栄華への再出発」
日 時:11月20日(日)
講 師:伊井 春樹(当館名誉館長)

古文書講座 13:30~15:00

- 講座番号③ テーマ展開連講座「出典文書から探る【南予の戦国乱世】①」
日 時:10月9日(日)
講 師:山内 治朋(当館専門学芸員)
- 講座番号④ テーマ展開連講座「出典文書から探る【南予の戦国乱世】②」
日 時:11月23日(水・祝)
講 師:山内 治朋(当館専門学芸員)

考古講座 13:30~15:00

- 講座番号③ 「宇和島市の考古学事情」
日 時:12月17日(土)
講 師:西澤 昌平氏(宇和島市教育委員会学芸員)
- 講座番号④ 企画展開連講座「企画展【えひめの古墳探訪】のみどころ」
日 時:平成29年2月18日(土)
講 師:富田 尚夫(当館専門学芸員)
- 講座番号⑤ 企画展開連講座「えひめの埴輪を探る」
日 時:平成29年3月4日(土)
講 師:山内 英樹氏(松山市教育委員会主事)

民俗講座 13:30~15:00

- 講座番号③ 「お遍路・札所・地域から見た四国遍路」
日 時:平成29年3月11日(土)
講 師:今村 賢司(当館専門学芸員)
- 講座番号④ 「宇和島・戸島歌舞伎について」
日 時:平成29年3月18日(土)
講 師:宮瀬 温子(当館職員)

歴史講演会

- テーマ展記念講演会「【石谷家文書】から見える伊予の戦国時代」
日 時:11月3日(木・祝) 13:30~15:00
講 師:内池 英樹氏(岡山県立博物館学芸課主幹)

愛媛・大分交流講座

- 「大分県側の史料から見た大分・愛媛の地震史ー慶長地震を中心にー」
日 時:平成29年1月15日(日) 13:30~15:00
講 師:櫻井 成昭氏(大分県立先哲史料館主幹研究員)

体験講座

- 講座番号⑥ 「秋の苔づくり」
日 時:10月15日(土) 13:30~15:00
【定員:20名】
講 師:苔 久氏(苔玉アーティスト)
参加費:1,000円程度
対 象:小学生~一般 ※小学生は必ず保護者同伴
- 講座番号⑦ 「食育ふるさと料理マルシェと愛媛・食の歴史展示解説」
日 時:11月12日(土) 13:30~15:00
【定員:40名】
講 師:大本 敬久(当館専門学芸員)
対 象:小学生~一般 ※小学生は必ず保護者同伴
- 講座番号⑧ 「水引細工に挑戦~ポチ袋をつくってみよう!~」
日 時:12月3日(土) 13:30~15:00
【定員:20名】
講 師:篠原 啓子氏(伝統工芸師)
参加費:500円程度
対 象:小学生~一般 ※小学生は必ず保護者同伴
- 講座番号⑨ 企画展開連講座「東予の古墳探訪」
日 時:平成29年3月12日(日) 8:30~17:30
【定員:30名】
講 師:富田 尚夫(当館専門学芸員)
参加費:4,500円程度
対 象:小学生~一般 ※小学生は必ず保護者同伴



申込方法
希望する講座名・講座番号とご住所・お名前・年齢・電話番号など必要事項を記入し、開講日の1週間前(体験講座は2週間前)までにハガキなどでお申し込みください。
※定員に満たない場合は、申込締切後にも受け付けます。応募者多数の場合は抽選となりますので、あらかじめご了承ください。参加費は、昼食代・講師謝金・施設観覧料等の実費です。

お問い合わせ: 企画普及グループ・歴史文化講座係
TEL (0894) 62-6222 / FAX (0894) 62-6161

開館記念日

11月12日(土)・13日(日)

当館では11月で開館22年目を迎えます。開館を記念し今年は2日間、開館イベントを実施いたします。
常設展・特別展が無料でご利用いただけます。ぜひ、博物館へお越しください。

ご利用案内

- 開館時間 9:00~17:30(入館は17:00まで)
- 休館日 月曜日(下記カレンダーをご参照ください)
- 観覧料

	区分	一般	団体
常設展 テーマ展	大人(高校生以上)	510円	410円
	小・中学生	無料	無料
	65歳以上	260円	210円
新常設展	観覧無料		

※企画展・特別展の観覧料はその都度定めます。
※団体は20名以上です。
※テーマ展をご覧いただくには、常設展示観覧料が必要です。

展示スケジュール

2016.9-2017.3

2016	9	特別展 「自転車ヒストリー ~夢と希望をペダルにのせて~」 9月17日(土)~11月27日(日)	自主企画展 「弱虫ペダル原画展」 9月17日(土)~11月27日(日)	新常設展 和彫壺による弘染大師筆海の世界 密・空・海 内海清美展
	10	▶「開館記念イベント」11月12日(土)・13日(日)		
	11	▶「新春イベント」平成29年1月2日(月)・3日(火)		
2017	1	▶「おひなさまイベント」平成29年2月25日(土)・26日(日)		
	2	企画展 はに坊と行く!「えひめの古墳探訪!」 平成29年2月11日(土)~4月9日(日)		
	3			

※都合により、行事や展示、日程などについては、変更・中止される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

Museum Calendar 2016.9-11

9月							10月							11月									
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土			
					1	2	3						1			1	2	3	4	5			
4	5	6	7	8	9	10	2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	休			
11	12	13	14	15	16	17	9	10	11	12	13	14	15	休	14	15	16	17	18	19			
18	19	20	21	22	23	24	16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26			
25	26	27	28	29	30	23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30							



愛媛県歴史文化博物館
MUSEUM of EHIME HISTORY and CULTURE

管理運営:指定管理者 いよてつ総合企画

〒797-8511 愛媛県西予市宇和町卯之町 4-11-2 電話:0894-62-6222

【ホームページ】 <http://www.i-rekihaku.jp>

●発行日 平成28年8月15日 ●編集/発行 愛媛県歴史文化博物館